

**2012年9月石原社長定例記者会見概要**

9月26日午後3時から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

**<編成関連>**

上期の視聴率は、残念ながら、前年上期の平均をやや下回る状況だ。特にゴールデン・プライムの平均が、二桁に届いておらず、厳しい状況だ。

原因として、バラエティ番組などがロンドンオリンピックの影響を受けてしまったことなども挙げることが出来るが、何よりもレギュラー番組の「基礎体力」の強化が急務と考え、企画内容の強化を指示しているところだ。

10月改編では、オリジナリティに富んだ話題性のある「バラエティ」を新たに加え、より多彩なラインナップを目指し、GP帯で50%近い大幅な改編を行った。

マーケティング調査を基に、曜日ごとの視聴者の特性に応じたラインナップを組んだ。月曜日は、女性層中心の流れを強化し、火曜日・木曜日はバラエティを中心に、若者・ファミリー層の獲得を目指す。水曜日は、ゆったりと楽しめる2時間スペシャルのエンターテインメントと映画を並べた。土曜日・日曜日は、家族で観て、会話が広がる楽しいエンターテインメントをお届けする。

曜日ごとのカラーをはっきり打ち出しながら、視聴率の向上を目指していきたい。

**<ロンドン五輪>**

日本選手が38個と過去最多のメダルを獲得するなど、大いに盛り上がった。TBSでは、男女のサッカーやバレーボールなどを放送し、平均視聴率は民放2位という結果だった。また今回は「ソーシャルメディア五輪」と呼ばれた大会でもあった。民放でもNHK同様、ネット配信を行ったが、まだネット配信自体がビジネスとして成り立つ段階には至っていない。ネットと放送の相乗効果という新たな可能性は見えてきたが、今後更に研究していく必要があると思っている。

**<営業関連>**

上期のタイムセールスは、ネットタイムのレギュラーは前年並みで推移している。単発ではバレーボールの世界最終予選、サッカーのEURO2012、ロンドン五輪と大型単発が続き、前年の実績を上回る見込みだ。ロンドン五輪については、前回の北京大会並みの売上で、当初の目標は何とか達成したが、放送権料の高騰もあり、収支の面では今後課題を残した。

下期は、ネットタイムのレギュラーは若干減少するものの、ローカルタイムは、上期を上回る売上が確保できそうで、タイム全体としては、前年を超える売上が目標にしたい。

スポットセールスは、4月5月が前年の震災の影響による反動で大きく伸びて、第1四半期は前年比118%となった。しかし第2四半期は、オリンピックの影響などもあって前年には届かない見通しで、上期トータルでは107%程度と見ている。

下期は、国内外に景気の牽引役が見当たらず、全体的に内需の低迷が続くのではと心配している。先週、日銀が10兆円の金融緩和策を発表したが、どの程度の効果があるかは不透明で、現場には、コストコントロールを徹底するように指示している。

### <事業関連>

映画は「天地明察」が9月の公開10日間で、興行収入およそ4億6400万円、動員も40万4800人を超えた。大人の観客層中心に評判がよく今後の伸びに期待している。11月に「のぼうの城」、12月に「今日、恋をはじめます」「大奥～永遠～」と大作の公開が控えており、大変楽しみにしている。

舞台は、赤坂 ACT シアターで、人間国宝に認定された坂東玉三郎さんが出演する「ふるあめりかに袖はぬらさじ」が今週金曜日に始まる。渋谷東急シアターオーブでは、来月にはフランス版ミュージカル「ロミオ&ジュリエット～ヴェローナの子どもたち～」の公演が控えている。

展覧会関連では、「ベルリン国立美術館展」が40万5,000人余りを集めて大盛況のうちに終了した。来週からは国立新美術館で「リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝」を開催する。リヒテンシュタイン侯爵家が500年以上にわたって収集したルネサンスから新古典主義までの名画をご覧いただける。

CSに10月1日、新しく「TBSチャンネル2(ツー)」が開局する。TBSの名作ドラマ・バラエティを中心に編成し、開局特番として北野武監督のオリジナルドキュメンタリー作品を放送する。TBSのCS事業は、名前を変える「TBSチャンネルワン」と、従来の「TBSニュースバード」を合わせて、今後3チャンネル体制で運営する。

### <TBSR&C> 入江社長

8月の首都圏ラジオ個人聴取率調査でTBSラジオは2001年8月以来連続1位の記録を67期に更新した。しかし聴取率はマイナス、全局セッツインユースも過去最低という厳しい結果であったため、対応策として独自にラジオリスナー調査を行い、結果を編成・番組制作に活かして行く。10月改編はナイターゾーン中心で改編率は13%程度。1973年以来番組が続いている小沢昭一さんが体調不良で入院され、しばらく「傑作選」ということで過去の番組を放送する。復帰の時期については小沢さんの回復状況を見て判断。営業収入では8月はタイムに加えスポットも振るわず厳しい結果となった。9月も含め第2クォーターはかなり厳しい状況となる見込みで危機感を持っている。

以上